＜学校名＞　草加市立松江中学校

＜所在地＞　草加市松江３丁目１４番地３３号

＜電　話＞　０４８－９３６－９９０３

＜本事例の特徴＞

本校は、日本語指導を受けている生徒が７名在籍している。以前から、外国籍の子どもが多く、ここ数年でも県内外から外国籍の生徒が転入学してきている。このように、学校内でもグルーバル化が進んでいる中、本校では、グローバル人材を育成するため、外国語の授業においてコミュニケーション能力を育みながらで国際社会で活躍する人材の育成に努めている。

＜具体的な取組や成果＞

取組①

〇ペアワークや４人グループなどでのゲーム活動を通して、適宜、コミュニケーション活動を取り入れている。

〇教科書の本文をリメイクしながら３人組で対話の内容を考え、全体で発表会を行った。(写真)

成果

〇失敗をおそれず、「話そう」「伝えよう」という意識付けになっている。

〇自分で質問を考えることは難しい様子だが、相手に好きなことを伝えたり、質問に答えたりすることは少しずつ定着してきている。

取組②

「夢の旅行」を企画しよう

〇２年生の教科書にある１つの単元であるが、グループで自分たちの夢の旅行を企画して、ALT にプレゼンテーションを行うという活動である。

〇自分たちの興味だけでなく、ALT にいかに興味を持ってもらうかという課題を与えることで、他者を意識した発表が出来た。

〇当日の発表は、グループの中で分担を決め、クイズを出したり、話し方も強弱を作り、それぞれの班で工夫を凝らしたりしていた。発表が終わった後、ALT に審査をしてもらい、最優秀賞班を決めてもらった。賞品としてステッカーのプレゼントがあった。

成果

〇発表は google のスライドを使い、ICT の活用にもつながった。

〇外国について調べたり、ALT にいろいろ英語で質問したりすることで国際理解にもつながり、生徒にとって良い学びとなった。